

令和7年度第2回小金井市長期計画審議会

日 時 令和7年8月1日（金）午前9時04分～午前10時33分

場 所 小金井市役所第二庁舎801会議室

出席委員 11人

会 長	渡 邊 嘉二郎	委員			
職務代理者	萬 羽 郁 子	委員			
委 員	白 井 脩 造	委員	中 村 彰 宏	委員	
	湯 元 由 佳	委員	渡 辺 有 加	委員	
	石 塚 勝 敏	委員	春 日 邦 夫	委員	
	佐 伯 大 太	委員	須 藤 吉 章	委員	
	浅 野 智 彦	委員			

欠席委員 5人

檜 山 渚	委員	和 知 俊 行	委員
井 寺 喜 香	委員	塚 田 晃 平	委員
神 山 伸 一	委員		

---

事務局	企画政策課長	廣 田 豊 之
	企画政策課係長	前 坂 悟 史
	企画政策課主任	兼 堀 義 信
	企画政策課主任	山 田 仁 美
	企画政策課主事	樗 木 紗 矢
	アビームコンサルティング株式会社	大 川 創 平
	アビームコンサルティング株式会社	中 村 圭 介
	アビームコンサルティング株式会社	大 森 陽 太

---

傍聴者 0人

（午前9時04分開会）

◎渡邊会長 ただいまから、令和7年度第2回の小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日は、井寺委員、塚田委員、和知委員、神山委員、檜山委員が欠席という連絡が入っております。

定足数は、「小金井市長期計画審議会条例」第5条第2項で、半数以上の出席で成立すると定められております。現在16名中11名でございますので、この会議は成立しているということをお報告申し上げます。

それでは、事務局から資料等の説明をお願いいたします。

◎**廣田企画政策課長** お配りしている資料の確認でございます。まず、本日の次第でございます。2点目が、資料1ですけれども、「後期基本計画における「重点テーマ（Focus Point）」について」でございます。3点目が、「令和7年度施策評価の長期計画審議会コメント案」になります。こちら各分野で両面刷りになって3枚でございます。あとは、来週行います起草委員会の御案内となっております。

もし資料等に不足等ございましたら、事務局のほうにお申し付けいただければと思います。では、よろしいでしょうか。

それでは、渡邊会長、よろしく願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、議題1「後期基本計画における「重点テーマ（Focus Point）」について」を議題としたいと思っております。では、事務局から資料1に基づいて説明をお願いいたします。

◎**廣田企画政策課長** 資料1を御覧いただければと思います。本日配付いたしました資料は、第5次基本構想・後期基本計画における重点テーマ（Focus Point）についての案になります。

後期基本計画は、10年間の基本構想のうちの後半5年間を対象とした計画になりまして、前期基本計画との継続性も重視する一方で、前期の策定から5年が経過したことによる社会情勢の変化や市の現状等を的確に把握しまして、未来を見据えた上で課題に取り組んでいく必要があります。

そのため、御議論をいただいております長期計画起草委員会や、また、庁内で組織する長期総合計画策定本部での御意見も踏まえまして、全施策を通して特に力を入れて意識して取り組んでいくテーマを設定することで、前期からの変更ポイントとして位置づけたいと考えてございます。

なお、このテーマの設定に当たりましては、前期基本計画において「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定していることを踏まえまして、後期基本計画においては、国の改訂に合わせて「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として、一体的な作りとしていくということもございまして、総合戦略の横断的な視点との整合も図りつつ重点テーマを設定することとしたいと考えてございます。

そこで、後期基本計画の重点テーマとしまして、2点ございますが、まず、持続可能（サステナブル）な地域社会の構築と、2点目が、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による地域社会の発展の2点を掲げてございます。

まず、1つ目の持続可能な地域社会の構築につきましては、環境、社会、経済、地域などのあらゆる分野がバランスよく発展し、将来にわたって持続的に誰一人取り残さない地域社会を実現していくことを目指したテーマとしてございます。

具体的には、視点①と②がございまして、視点①としましては、人口減少・少子高齢化社会への対応をはじめ、担い手・人材不足への対応、コミュニティの活性化、多様な主体との連携・協働、地域資源を活用した産業育成などの視点、視点②としまして、循環型社会の形成やカーボンニュートラルの実現という環境の視点を想定してございます。

2つ目のDXの推進による地域社会の発展につきましては、利便性の向上や業務効率化等を図りまして、地域の課題を解決するとともに、市民の生活をより便利で快適に、そして安全・安心で豊かな暮らしを実現していくということを目指したテーマでございます。

具体的には、こちらも視点①として、行政サービスのデジタル化、市民の利便性の向上などの視点、視点②としましては、業務の効率化、働き方改革、人手不足の解消や生活様式の変革などの視点を想定してございます。

裏面を御覧いただければと思います。

重点テーマの計画内における位置づけとしましては、基本構想が、将来像の実現に向けて、「まちづくりの基本姿勢」を念頭に、6つの政策を展開したものでございまして、基本計画が、29の施策を具体化・体系化して推進していくというものでございます。重点テーマは、あくまでも後期基本計画の期間において、基本計画の施策を更に一押ししていくもの、そういった位置づけの方針でございます。

現在、庁内で検討を行っているところでございますので、具体的な記載などにつきましては、改めてお示しできればと考えてございます。

説明は以上でございます。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。ただいま事務局から、次年度の後期計画を考えるに当たって重点テーマ（Focus Point）を設けるということの説明がありました。これについて御質問、御意見があればお願いします。

では私から意見を申し上げます。前期では、重点テーマはなかったですね。将来像があったと思いますが、今回、このように具体的なテーマを設定することで、全体の構造がより明確化するという意味では、非常に良いことだと思います。それから内容的には、DXの推進、情報処理というのは横断的技術です。行政でも必要だし、教育でも必要だし、介護でも必要だし、地域社会の構成でも必要だし、保育でも必要という、どこでも必要なことで、方法論としてDXを用いたというのは非常に良いことだと思います。それから、サステナブルな地域社会の構築も含まれていますから、これはどちらかというとも目的になります。この目的のためにDXを活用するというのは非常にすっきりしており、良いまとめ方かと私は思いました。

他に何かございますか。

◎**萬羽職務代理者** 内容については賛成です。ただ、地域づくりやまちづくりをするときに、その市の特徴を反映させたほうが良いと思います。ある意味これはどこにでも共通する内容になっているような気がしました。内容は良いと思うのですが、この市の特徴と結びつけて何か目的を示すとか、特にこの辺りは市の特徴として少し付け足すとか。重点テーマ自体には賛成ですけれども、見せ方として、市の特徴が反映されたほうが、例えば市民やまちづくりに関わる方が見たときに、もう少し自分事として考えられるかと思いました。もし可能であればその辺りの見せ方を考えていただけたらと思います。

以上です。

◎**渡邊会長** ChatGPTで勉強したのですがけれども、田園都市構想は大平内閣のときに提唱されたもので、岸田内閣でそれにデジタルというのをつけたらと思う。小金井における2つの重点テーマがどうあるべきかということのカスタマイズできないかなど。小金井は田園都市ではないですよ。自然豊かという意味では田園都市かもしれないけれども。でも少し違うので、やはりそれは小金井らしい特性を生かして考えていただきたいたいという気がしました。ChatGPTはあくまでも人工知能で、皆さんの現場の知識を加えて深めていただければと思います。萬羽先生の御意見に対しての付け足しになります。先生、ありがとうございました。

ほかに御意見はございますか。

◎**浅野委員** これまで示していただいた、たたき台は、各所管課等からボトムアップ式に積み上げてきたものだと思います。今回、それに対して上から重点テーマを提示して、それに合わせて各施策の中身をもう1回考えるということだと思うのですが、そうすると、今我々が検討しているたたき台とは随分違ったものが、例えば次の起草委員会では出てくるということになりますでしょうか。

◎**前坂企画政策課係長** 今おっしゃっていただいたように、今まで検討いただいた文案を各所管課で、たたき台を精査したものを作っております。基本的にその文案は、一旦固まっているので、この重点テーマの見せ方ですがけれども、各施策にこの2つのテーマに該当する項目をピックアップして、この施策の中で特にこの部分、例えば人材不足の部分をやっていくとか、デジタルを使ってこういうことをやっていくというのが見えるような形で、文章ではなくマークのようなもので示すような形にすることを検討しています。その中身としては、また個別に検討はするのですが、文章自体にこれを全部入れていくというよりは、もともとあるものの中から、この視点で特に進めていくのはどれかというのが、マークのようなもので分かるような作りをするのを検討しています。

◎**浅野委員** そうだとすると、もう少し解像度が高い形で提示しないと、ピックアップして対応することがもしかしたら難しいこともあるかと思います。例えば、人口減少はもちろん重要な課題だと思いますし、少子高齢化ももちろん重要な課題で、それは小金井市に限らず全ての市町村もそうだと思います。他方で、小金井市の小中学校が現状直面しているのは、子育て世帯が増えているので、児童生徒数が増えているということだと思います。そのため、単に少子化や高齢化に対応するという大きな重点テーマを出していただいても、それに対する対応ということで考えると、直近の3年、4年は子どもの数が増えそうだとすることに対してどうするのかという問題があり、重点テーマというか、その前提になる「市の現状等を的確に捉え」の部分ですよ、ここをもう少し解像度高く示してもらわないと、我々というよりは所管の担当の方々が御苦労なさるのではないかという印象を持ちました。

◎**前坂企画政策課係長** 分かりました。ありがとうございます。もう少し検討させていただきます。市の最上位計画のため、どの辺りのレベル感でこれを載せるかというのは検討中では

ありますが、そこで決めたポイントを各所管課で個別計画ですとか実際の取組の中で具体化していくという流れになっていくかと思えます。その辺りは庁内でも調整しながら作っていきたいと思えます。

◎浅野委員 そうするとこれは、今回途中で出てきたということもあるので、暫定的な試みだと思のですが、5年後の次の長期基本構想の策定では最初からこれを示してやる形で今考えていच्छるということになりますか。

◎前坂企画政策課係長 基本構想が10年間で大きな一つの区切りになるので、これも踏まえつつ、そのときにまた社会情勢等を見ながら決めていく形になるかと思えます。

◎浅野委員 分かりました。ありがとうございます。

◎渡邊会長 これから検討して、細かくこの重点テーマを具体化していくということですね。

ほかにございますか。なければ、そういうことで進めていただきます。多分これからは評価も楽になると思えます。こういう重点テーマがあると、この視点から評価していけるということになるので。次の議題に移ってよろしいですか。

それでは、議題2「グループワークについて」を議題としたいと思えます。事務局から説明をお願いします。

◎廣田企画政策課長 令和7年度施策評価の長期計画審議会コメントにつきまして、前回に引き続きまして、今回も3グループに分かれて御議論をいただければと考えてございます。

まず、資料2を御覧いただければと思えます。

こちらの資料ですが、前回の審議会で委員の皆様をお願いをしておりました、長期計画審議会コメント案シートを取りまとめたものになっております。御提出いただきまして、ありがとうございました。この資料にありますとおり、施策によってはかなり多くのコメントをいただいております。誠にありがたいことではございますが、施策評価シートを御覧いただければおわかりいただけるのですが、長期計画審議会コメントの欄には限りがございます、そのまま全部掲載することができない状況となっております。昨年度までの評価で申し上げますと、短い文章では2つぐらいのコメント、長い文章では1つのコメントといったところもあるという状況でございます。

本日は時間も限られていますので、長期計画審議会コメントを集約するところまで行ければと思っておりますが、進行具合によっては難しいと考えております。しかしながら、ある程度の方向性を御検討していただきたく、今あるコメントの中から長期計画審議会コメントに掲載したいキーワードとか文章をピックアップしていただくという作業を行ってほしいと思っております。それ以降、時間に余裕があるグループにつきましては、施策評価シートに反映する長期計画審議会コメント、答申に掲載する意見の仕分作業まで行っていただければと思っております。

具体的には、グループごとに資料2と同じ内容のA3の大きめのシートを1枚、テーブルのほうに配付してございます。例えば、施策1の「みどりと水の環境整備」のところでいいます

と、このコメント案の1枚目の一番上に「花の植え替えイベントの参加者が多いことが評価できる。」と書いてあります。こちらを長期計画審議会のコメントとして残したい場合は、そこにアンダーラインを引くこととなります。アンダーラインを引く場所は文章全体でもいいですし、また一部でも可能でございます。

なお、この作業で示されたものを基準に、事務局で文言調整をしまして、次回の審議会までにコメント案を整理いたしますので、この段階では細かい表現などは気にしなくても大丈夫です。どうしても表現に指定がある場合は、その旨を余白とか裏面などに記入していただくこととなります。また、資料2に記載がない内容を長期計画審議会のコメントや意見として残す場合は、記載する内容の修正や、新たに文章を追加するということも可能でございます。

作業時間ですが、おおむね50分程度設けたいと思ひまして、遅くとも10時15分ぐらいまでに作業が終了できるようにしたいと考えてございます。ただ、3グループございまして、それぞれ施策数も異なっており、どうしても進行に差が出てきてしまうかと思ひますので、終了時間につきましては、進行具合を見まして柔軟に対応したいと考えてございます。なお、早く終わったグループにつきましては、長期計画審議会コメントとその他の意見の文案まで御検討いただければと思っております。

そのほか、作業していく中で疑義が生じる場合は、事務局スタッフにお声かけいただければと思ひます。

最後に、評価を行う上での注意点でございます。評価コメントの中に、例えば「指標の目標値の設定が高過ぎる」や「指標が適切なのか」といったコメントがございます。今回はあくまで令和6年度実績の評価となりますので、目標値の設定など、計画の作りに関することにつきましては、後期計画の策定の部分で整理できればと思っております。また、「指標の値が下がっているのに、評価が一定の成果が上がっている」といったコメントもございますが、評価の欄につきましては、指標だけに対する評価ではなく、令和6年度に実施した取組などを含む総合的な評価となります。そのため、取組で何かしらの成果を上げている場合も「一定の成果が上がっている」という評価になることがございます。評価の理由につきましても記載する欄がございますので、そちらも併せて御確認いただきまして、それに対しての評価コメントをいただけると幸いです。

長くなりましたが、説明は以上でございます。

◎**渡邊会長** 事務局からグループワークでなすべきことについて説明がございました。何か御質問等あればお願いいたします。よろしいですか。

では、これからグループワークのほうで、各グループの準備が整い次第始めるということにしたいと思ひます。よろしくお願ひします。個別に分からないことは、事務局の方がつきまますので、伺ってください。

(グループワーク)

◎**渡邊会長** それでは、議題3「グループワークの検討結果について」ということでございます。

す。今回のグループワークの検討結果については、A3のシートにまとめたものを事務局が整理し、次回、答申案として作成していただくということになっております。皆さん、グループワーク、いろいろありがとうございました。

この結果について何かコメントはありますか。長期計画審議会のコメントとして反映されなかった部分についても行政として意識をしていただきたいと思います。

それでは、その他の議題でございます。事務局のほうでお願いいたします。

◎山田企画政策課主任 事務局より事務連絡をいたします。次回の審議会の日程につきましては、8月25日月曜日午後5時から、場所は市民会館萌え木ホールA会議室となります。なお、詳細につきましては、改めて開催通知を送付させていただきますので、よろしく申し上げます。

また、来週、最後の起草委員会がございます。お配りしている開催通知を御参照いただければと思います。第1グループについては、8月5日火曜日午後2時から、場所は第2庁舎8階801会議室になります。第2グループについては、8月6日水曜日午前10時から、場所は本庁舎3階第一会議室になります。先日メールさせていただきましたが、開始時間が変更になっておりまして、時間が9時開始から10時開始に変更になっておりますので、御留意ください。第3グループにつきましては、8月6日水曜日午後2時から、場所は本庁舎3階第一会議室となりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

◎渡邊会長 日程について事務局から御提案がございましたけれども、何か御異議等ございますか。この日程でお願いしたいということでございます。

ほかに何か委員の方から御発言があればお願いしたいですけれども、よろしいですか。

それでは、本日の議題は全て終了ということで、これをもって令和7年度の第2回長期計画審議회를終了したいと思います。皆さん、御苦勞さまでした。ありがとうございました。

(午前10時33分閉会)